

2023年6月16日発行

第36号

民生委員・児童委員



たより

発行 亀山市民生委員児童委員協議会連合会
編集 連合会広報部会
亀山市羽若町545(総合保健福祉センター内)
☎0595(82)7985

もくじ

各地区の活動紹介……………	2・3
主任児童委員の活動紹介……………	4
高齢者実態調査の報告	
緊急通報装置って?……………	5
お元気さん紹介、元気な子どもたち…	6

『支え合う 住みよい社会 地域から』の スローガンのもと、新年度の活動がスタートしました。

令和4年12月、厚生労働大臣からの委嘱を受け、新メンバーでの3年間の民生児童委員の活動が始まりました。もう、新しい民生児童委員・主任児童委員の顔を覚えていただきましたでしょうか。

4月から始まった各地区の令和5年度の活動をお知らせしていきます。



会長あいさつ

亀山市民生委員児童委員協議会連合会会長 小林智子

令和4年12月の一斉改選に伴い、亀山市民生委員児童委員協議会連合会会長に就任させていただきました。微力ではございますが、皆様方からののお力添えを賜りながら取り組んでまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

コロナ禍の影響により、生活様式が一変しただけではなく、地域の皆様が不安を感じる事も多くなり、また、人と人との繋がりが少し希薄になっているようにも思われます。私達民生児童委員、主任児童委員は、途切れる事のない支援活動が求められています。

民生児童委員活動のスローガン「支えあう 住みよい社会 地域から」に掲げてありますように、地域の皆様の身近な相談役として、また、行政、関係機関等へのパイプ役として「発見・見守り・つなぐ」を旨として努めてまいります。

今期委嘱を受けた民生児童委員86名、主任児童委員11名の皆さんと、地域の方に寄り添った活動に取り組んでまいりますので、お気軽にご相談ください。

※「民生委員・児童委員たより」におきましては、字数の都合も含め、民生委員・児童委員を「民生児童委員」と表記させていただきます。

「地域に密着・信頼される活動を」



関地区会長 駒田博昭



関地区民児協は、区域担当の民生児童委員20名と、主任児童委員2名で構成されています。昨年の12月の一斉改選で大半が新任委員体制の中、スタートしました。

各委員には、活動経験や地域性の違いもある中、個々の資質向上を図るための定期的な「介護保険・福祉制度等のコンパクト研修」を行うとともに、毎月開催の定例会では事例を基に委員相互の情報交換と知識技能の向上に努め、地域に密着し信頼される民生児童委員を目指します。

また、「支えあう 住みよい社会 地域から」の活動スローガンのもと、友愛訪問、見守り活動を中心とした活動と市内の高齢者施設や障がい者施設等の見学・交流を深め、地域の身近な相談相手として継続的な活動を行います。

本年4月に「こどもまんなか社会」の実現のための新たに創設された「こども家庭庁」の動向で民生児童委員を取り巻く環境が変わってきますが、これまでの登下校時の子ども達への見守りやあいさつ運動を引き継ぎ、現在の三つの「高齢者・児童・障がい者部会」の活動を通して、地域福祉の推進に資するべく、民生児童委員活動の更なる展開を図ります。

「高齢者・子ども・障がい者とのふれあいを大切に」



西部地区会長 小林智子



西部地区は、亀山西小、神辺小、白川小校区の、民生児童委員21名、主任児童委員3名、計24名で活動しています。

この3年間は、コロナ禍にあり地域の皆さんとの交流が難しい状況でした。今期は、高齢の方への友愛訪問の他、地域サロン活動等に参加し、ふれあいを大切にします。夏には、「回想法」を取り入れている施設の見学に出かける予定です。地域の活動や各自の活動に役立てるために、研修会や勉強会もしていきます。

また、小学校へ出向き、紙芝居を活用して、子ども達に民生児童委員、主任児童委員の活動を紹介したり、6年生の社会の授業に合わせて、出前授業を行う予定です。西部地区内には、障がい者施設があります。交流会を3年ぶりに再開したいと思います。ふれあう事で、障がいのある方への理解が深まると 생각합니다。

地域の方々とふれあいを持つことで、お互いに理解しあい、人と人の繋がりを大切に、地域の方々に寄り添った思いやりのある活動を行っていきます。

「亀山東小・亀山南小・昼生小校区 地域に寄り添った活動を」



中部地区会長 名越 平

中部地区は亀山東小、亀山南小、昼生小校区の民生児童委員18名、主任児童委員3名で構成されています。ただ、5名が欠員しており苦労しております。

亀山市民生委員児童委員協議会連合会の事業計画にのっとり年間活動を行っていきたいと考えています。特に、地域の高齢者・子供たち・困窮者の方々の支援・見守り・行政への引継ぎ等多岐にわたっていますが、地域の民生児童委員として期待は一層高まっていると考えます。本年度も、私たち民生児童委員は、全国民生委員児童委員連合会が提唱する「支えあう 住みよい社会 地域から」の活動スローガンのもと、全委員が力を合わせ関係機関と連携・協働し、安全で安心な地域づくりを目指して参りたいと決意致しました。

ご協力、宜しくお願い致します。

「地域に密着した活動を…」



北部地区会長 西村 邦昭

北部地区の民生委員児童委員協議会を担当しております、みどり町4丁目の西村です。

北部地区とは亀山市の北の方に位置する、野登小、川崎小、井田川小校区の民生児童委員(28名)と主任児童委員(3名)のトータル31名で活動を行っております。

日頃は各校区の地域において、お一人暮らしの方や75歳以上のお二人でお住まいの方々を中心に見守り訪問活動を行っておりますが、どんどんと高齢化が進み民生児童委員の活動も段々と大変となってきております。

また、民生児童委員協議会では、毎月第1金曜日に役員会、第2火曜日には定例会を開催して、一般連絡事項や各地域との情報交換などを行っております。また年に1回の4月には、定期総会を開催して今年度の活動報告や会計報告、来期の活動計画(案)、会計予算(案)、規約改定(案)などの討議を行い改善を図っております。

これからも各校区の地域で、それぞれの民生児童委員及び主任児童委員が活動をしていきますので、ご理解とご協力をよろしく願いしますと共に、何かお困りごとなどがございましたら、お一人で悩まずに気軽に担当の民生児童委員にご相談下さい。

主任児童委員は地域の子育て応援団

子育てサロンやあいあいっこ・あすれっこで、子育て中の親子とふれあい、育児相談を受けます。



主任児童委員は
こんな活動を
しています。

地域の民生児童委員といっしょに子どもの見守り活動をしたり、学校の運営協議会の会議に出席します。学校から依頼があれば授業に参加して、地域や自分たちの活動内容を紹介します。



子育て応援のサービスや福祉制度に関する質問や、子育ての悩み相談を受け、亀山市や社会福祉協議会の窓口につなげます。



民生児童委員の定例会や主任児童委員会に出席し、各地域の相談役として活動するための情報交換をします。各種研修会に参加します。



ひとりで悩まないで、お気軽にご相談ください。希望される方は、**子ども支援グループ** **83-2425**にまずお電話ください。

各地区の主任児童委員



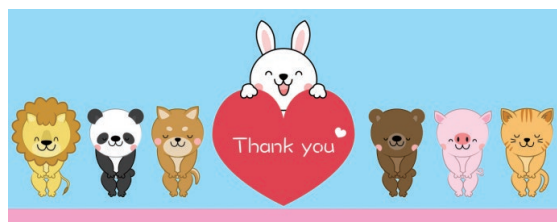
地 区 (小学校) (中学校)	氏 名
西部地区 (亀山西・神辺・白川小学校) (亀山中学校)	上村 孝典 大杉 美紀 廣森 裕規子
関 地 区 (関・加太小学校) (関中学校)	山田 勝彦 藤島 美恵子
中部地区 (亀山東・亀山南・昼生小学校) (亀山中学校)	田邊 弥生 宮崎 道子 松尾 みち子
北部地区 (井田川・川崎・野登小学校) (中部中学校)	増村 嘉子 田辺 洋子 伊藤 淳子

高齢者実態調査 ご協力ありがとうございました

令和4年度の高齢者実態調査は、10月末日を調査期間として、65歳以上の方を対象に実施されました。

この調査は亀山市からの依頼を受けて、毎年私たち民生児童委員が、主に75歳以上の方を一斉に訪問させていただいています。市では「高齢者の世帯状況を把握し、統計資料や福祉サービスの適正利用につなげるほか、地域での高齢者見守り活動を支援するため、この調査を実施しています」としています。

得られた結果をもとにして、地域での高齢者見守り活動や福祉サービスの利用がさらに実りあるものになるよう、民生児童委員一同日々の活動に取り組んでまいります。



遅ればせながら、快く調査にご協力をいただきありがとうございました。

今年度は9月中旬に実態調査が実施される予定ですので、ご協力を賜りますようお願いいたします。

なお、友愛訪問につきまして、今年度より、市内4地区とも、75歳以上のお一人暮らし、お二人暮らしの方を対象に、年3回訪問させていただくことになりました。変更になる地区もあろうかと思いますが、ご了承ください。もちろん、友愛訪問以外にも、お困りごとやわからないことがございましたら、ご遠慮なさらず、担当の民生児童委員までご連絡ください。



「私は一人暮らしの高齢者、自宅で一人でいる時に急に体の具合が悪くなったりしたらどうしよう…」と不安になったことはありませんか？

私達、民生児童委員はそんな悩みや相談に出会ったとき、『緊急通報装置の設置』という高齢者福祉サービスがあることを紹介しています。

65才以上の一人暮らしの人などで、急病や事故などの緊急時に連絡を取ることが難しい人は、緊急通報ができる機器を無料で借りることができます。

（設置には市の審査があります。）

体の具合が悪くなった時などに「きんきゅう」ボタンを押すと、24時間365日コールセンターにつながり、コールセンターからご本人、近隣の協力員、ご家族などに連絡を取るほか、必要がある場合は救急車の要請をすることもできます。

また、長時間過ごす部屋に「人感センサー」を設置し、1日全く動きがない時など、コールセンターに自動通報し、安否確認をしていただけます。転倒して動けない方を、この機器で助けることができた実績もあります。

「あいさつ」ボタンを押すと、ご家族にあいさつ代わりにメールを送ることもできます。

関心のある方やもっと詳しく知りたい方は、民生児童委員または**担当窓口**にご相談下さい。



ボタンは3種類

赤ボタン きんきゅう
緊急通報したいときに押します。

緑ボタン あいさつ
家族等にあいさつ代わりにメールを送りたいときに押します。

青ボタン ごようき
生活のお困りごとについて相談したいときに押します。

亀山市健康福祉部
地域福祉課
高齢者支援グループ
(あいあい 6番窓口)
☎84-3312

お元気さん紹介

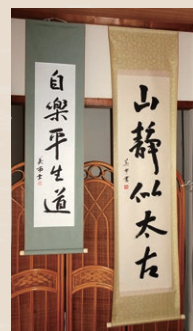
今回ご紹介するのは、
北部地区のお元気さんです。



川合町に
お住まいの 堀井 美市 さん(97歳)

趣味は30年以上にわたり楽しんでいる盆栽と、
幼少から学ぶ書道です。今もたく
さんの作品を書いています。

元気の秘訣は、週5日デイサー
ビスに通い、そこでお友達とカラ
オケやお話をして楽しく過ごす
こと。興味のあることには、好奇
心をもって何事もチャレンジす
るようにしています。



みずほ台に
お住まいの 川崎久二雄 さん(91歳)

切手収集、刃物研ぎ、園芸、写真、絵画など沢山の
趣味を持っています。特に切手収集は50年以上
、その数はおおよそ数万枚になりました。

元気の秘訣は、何事にも好奇心を持ってチャレ
ンジすること。また、毎日近所の公園で草抜き等
の清掃活動をしたり、依頼があれば長年培って
きた刃物研ぎの技術を生かしたボランティアを
行って、地域社会に貢献することをいつも考えて
います。



取材 2023年3月



白川小学校「お年寄り訪問」をしました

白川小学校の3・4年の児童は、体験学習の一つとして年2
回6月と10月に「お年寄り訪問」を実施しています。先生方、地
域の民生児童委員・福祉委員と共に担当区域を手分けして、75
歳以上のお一人・お二人暮らしのお宅を訪問します。

お孫さんと離れて暮らしてみえる方が多く、子どもたちを
心待ちにしてみえます。写真撮影も当初は恥ずかしいと断ら
れることもありましたが、子どもたちと一緒にすると最近は快
く応じてくださいます。



編集後記

昨年12月の民生児童委員の改選に伴い広報部も新メンバーとなりました。今まで同様に市民の皆様のご意見を伺いながら、新しい企画にも取り組み、広報誌を通じて民生児童委員の活動が市民の皆様へ周知され、老若男女問わず暮らしに役立つ情報を分かり易くお届け出来る様に心がけていきたいと思っています。